



月の光奉賛会
令和元年10月14日 満月

多久頭魂神社・天神多久頭魂神社での御神事

日時：10月14日の満月の日か、前後日

場所：豆畠の多久頭魂神社

場所：佐護の天神多久頭魂神社

(※) 10月22日は宮中宮殿で即位の大礼が執り行われます。
宮殿の正殿松の間に据えられた高御座に新天皇陛下、御帳台に新皇后陛下
がお座りになられ、即位を宣言されます。

■御祈願の趣旨 ■

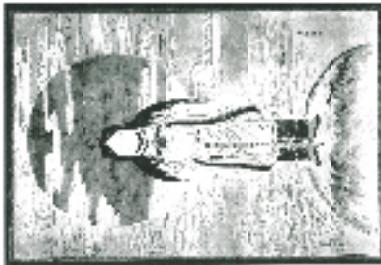
御皇室の弦楽と日本各地の宮司様の弦楽を祈り、世界の平和を祈念し、そ
ういう活動を支えられる地域経済の繁栄を願います。
宮司様に大祓祝詞を奏上していただき、参列者で教育勅語を奉唱します。

■「月の光奉賛会」とは ■

「月の光奉賛会」とは、日本神話の源流をなす伊邪那岐命と伊邪那美命の
国生みの島々、神話に由来する島々を顕彰する奉賛会です。代表を務める成
田亭は、平成7年（1995年）の阪神淡路大震災以降、家族で日本各地の1500
カ所以上の神社を参拝してきました。
御神職の方々のその先には、天皇陛下がおられるものなので、平成から令
和への御代替りにあたって、こういうことが自覚できるよう御神事をやつ
ていくことを目的として設立しました。

月の光奉賛会の名称で、玉串料をお送りします。

みなさまの地元の神社の宮司様に対馬のチラシをお渡し、そして、地元の
神社に玉串料を納め、対馬に合わせた御神事をお願いします。



■令和元年5月13日に行われた「斎田点定の儀」の龜ト（きぼく） ■
令和元年5月13日、皇居宮中三殿の神殿の前で行われた「斎田点定の儀」
の龜ト（きぼく）によって、東の「悠紀（ゆき）」地方として栃木県、西の「主
基（すき）」地方として京都府が決定しました。
令和元年11月14-15日の大嘗祭では両地方のお米が使われることになります。

東西の悠紀・主基に対して、対馬では南北の悠紀・主基が定められています。
対馬南部の豆畠にある多久頭魂神社が悠紀宮と呼ばれ、対馬北部の佐護
にある天神多久頭魂神社が主基宮といわれています。
悠紀（ゆき）・主基（すき）の語源については不明といわれていますが、彦
火火出見尊の父神である瓊々杵尊が天孫降臨される時、降臨地点を「行き過ぎ」
ないように座標軸を示されたものと思われます。高皇產靈神や神皇產靈
がお動きになられていた遠い神代の昔から、対馬には、座標軸を示す特別な
使命が与えられていたのだと思います。
悠紀・主基を決める龜ト（きぼく）は、御皇室と対馬の豆畠に伝承される
のみとなっていることを鑑みて、豆畠の重要性が示されています。さらに、
豆畠と対馬で語られる北の佐護の位置がわかります。

さらに、豆畠に伝承されている「天童」は、地球
の大天変地異があつた時代、伊勢の天照大御神さま
を陰ながらサポートするために龍良山（たつらさん）
に降臨された天照大御神さまの御姿です。

天照大御神さまは、神様として降臨されたので
はなく、「童（男の子のわらべ）」として降臨されて
いるので、特別に対馬では「天童」と尊称してきま
した。
度重なる変転によって、現在では、「天童」と「天
道」が混同、習合し由来が失われています。

平成から令和への御代替りに当たって、遠い神代の昔から古代、近現代史
において対馬の果たした役割に思いを馳せ、満月の日か、その前後に祈りを
捧げたいと思います。

< 月の光奉賛会 代表 成田亭 >
〒177-0033 東京都練馬区高野台1-23-30 ガーデンコート高野台 805

携帯 080-9175-4666 メール naritatooru@gmail.com